

**Greddy**

**Rebic III**



## 取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、理解された上で、正しくお使い下さい。

## はじめに

この度は、GReddyレビックIIIをお買上げくださりまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、GReddyレビックIIIを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにお使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

又、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

尚、本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

### ◆お客様と製品とのかかわり合い◆

### 必ずお読み下さい

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社の製品は、このような車に、更なる性能や利便性を付加することが出来ると考えております。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂く為に、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに自動車メーカーの提供する安全が、確保出来なくなる場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂くなくてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂く為にも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

## もくじ

はじめに	P 1
お客様と製品とのかかわり合い <b>必ずお読み下さい</b>	P 1
目次	P 2
1. 安全・取り扱いに関するご注意 <b>必ずお読み下さい</b>	P 3～7
2. 本製品の特徴	P 8
3. 部品構成	P 9～10
4. 取り付け方法・配線方法	P 11～20
(1)インジェクタードライバーの取り付けと配線	P 11～14
(2)プレッシャーセンサーの取り付けと配管	P 14～16
(3)コントローラーの配線と取り付け	P 17～20
5. コントローラーの使い方	P 21～30
(1)各部の名称と機能	P 21～22
(2)基本操作	P 23～30
6. 本製品の拡張性	P 31
7. オプションパーツリスト	P 32
8. トラブルシューティング	P 33～34
9. アフターサービスについて	P 35


製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。


この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂くことになります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂く為に、守って頂きたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。










 <b>警告</b>	もし、お守り頂かないと、 <b>生命の危機、又は重傷を負う人身事故につながる恐れのある</b> 注意事項です。
--	---

 <b>注意</b>	もし、お守り頂かないと、製品だけでなく <b>自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある</b> 注意事項です。
--	---

<b>お願い</b>	製品を正しくお使い頂く為に、 <b>必ず守って頂きたい</b> 注意事項です。
------------	---

<b>重要</b>	製品を正しくお使い頂く為に、 <b>知っておいて頂きたい</b> 注意事項です。
-----------	--

 警 告

-  取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、**思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。**
-  燃料漏れ、燃料ラインの劣化等、作業を行った箇所は走行前に必ず点検して下さい。燃料関係の取り扱いミス、作業ミスは**重大な事故を引き起こす可能性があり、大変危険です。**
-  燃料系統の作業・点検等は、周囲に火の気のないことを確認し、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で、行って下さい。ガソリンは**引火性があり、周囲に火の気があると火災の危険があり大変危険です。**
-  本製品の取り付け作業を行う際は、必ず、エンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、**エンジンやエンジン回りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。**
-  必ず自動車の下に燃えやすい物がないことを確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車すると、**火災の危険があります。**
-  必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中等でエンジンを動かし続けると、**一酸化炭素中毒の危険があります。**エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、**新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。**
-  車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、**排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。**
-  本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、**けがや火傷の可能性があり危険です。**
-  取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、**車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり、大変危険です。**

## 1. 安全・取り扱いに関するご注意

必ずお読み下さい

- ⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は誤った使い方をすると、**けがや火傷等を引き起こす恐れがあります。**
- ⚠ 作業終了後は、必ず運転席の足元に何も無いことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる等の恐れがあり、**大変危険です。**
- ⚠ 運転中は絶対に本製品の操作をしないで下さい。**わき見運転は思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。**
- ⚠ 車両を発進させる時は、必ず周りに何も無い事を確認して下さい。不用意に発進させると、**思わぬ人身や物損の事故等を引き起こす恐れがあります。**
- ⚠ 本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、又は譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられていることを知らせ、この**取扱説明書と保証書も、必ず渡し**して下さい。

### ⚠ 注 意

- ⚠ 燃料の調整(セッティング)不良は、エンジンの破損等を引き起こす可能性があります。**燃料の調整(セッティング)不良によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことが出来ません。**ご使用されるエンジンの仕様にあった空燃比に設定する為に、空燃比計等を使用して、数値を確認しながら燃料調整を行って下さい。
- ⚠ 本製品の取り付けには、車両の内外装、および電装系の加工、取り外し等の作業がともないます。**当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことは出来ませんので、慎重に作業を進めて下さい。**
- ⚠ 配線作業を行う時には、必ず、キーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があります。あり危険です。
- ⚠ くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。
- ⚠ 本製品を絶対に分解しないで下さい。ケース破損や故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。

- ⚠ 本製品のプレッシャーセンサーハーネスの取り回しは、点火信号や無線等のノイズの発生しやすい場所には設置しないで下さい。又、本製品を強力な電波の発生する場所では使用しないで下さい。電波等によるノイズは、本製品の誤作動を引き起こす恐れがあります。

## お 願 い

- 本製品には、回転増/減量の機能は付いておりません。必要な場合には、レビックIII・シミュレーターを増設して下さい。
  - インジェクターは、低抵抗タイプ(抵抗値2~3Ω)の新品を必ず使用して下さい。
  - 燃圧は、使用するエンジンの純正值(インテークマニホールドの圧力に対して、2.5~3.0kg/cm<sup>2</sup>ほど高い圧力が目安です)を必ず保つようにして下さい。
  - バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シート等、記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直して下さい。
  - 本製品は、精密機器の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。
  - 本製品をお買上げ後、9,10ページのパーツがあることをご確認下さい。
  - 新品をお買上げの時点で、保証書の製品番号とレビックIII本体付属の製品番号が異なっている場合は、お手数ですがお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
  - 本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
  - 本製品は改良の為、予告なく仕様変更する場合がありますのでご了承下さい。
  - 本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
- For Sale and Use in Japan Only.
- 本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。(住所・電話番号は次ページ記載。最終ページにも記載。)

重 要

- ・ 本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。
- ・ 本製品は12Vバッテリー搭載車の3気筒、4気筒、6気筒、8気筒のガソリンエンジンに使用出来ます。
- ・ 本製品のパーツ構成は、1本のインジェクターを駆動させる為の内容になっています。インジェクターを2～4本使用される場合には、別売りのインジェクターハーネスが必要になります。さらに、インジェクターを5～8本使用される場合には、別売りのインジェクタードライバーセットが必要になります。(価格は、P.32のオプションパーツリストをご覧ください。
- ・ 従来のRebic IIとは燃料噴射時間の演算が異なります。ポリュームを同じ数値に設定しても、同量の燃料噴射が得られない場合があります。

その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので、必ずお読み下さい。

株式会社トラスト 本社

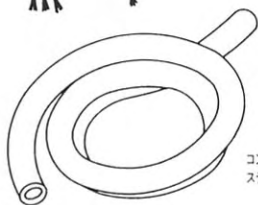
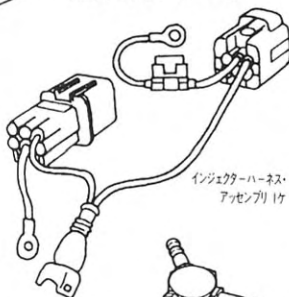
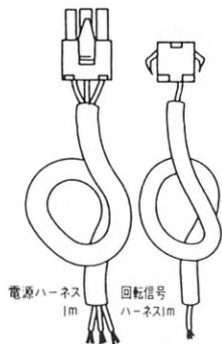
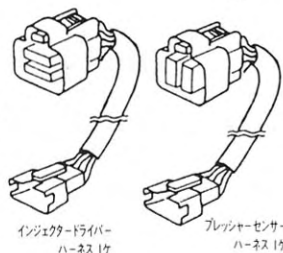
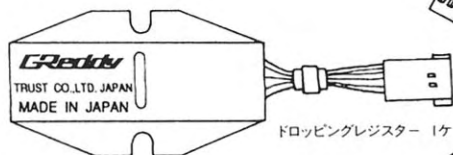
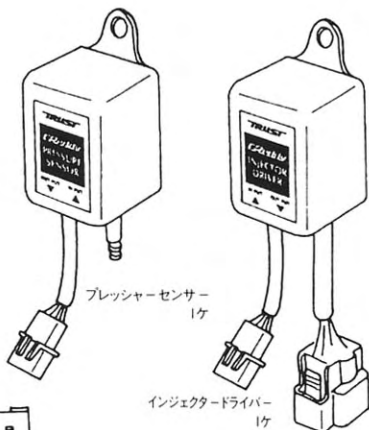
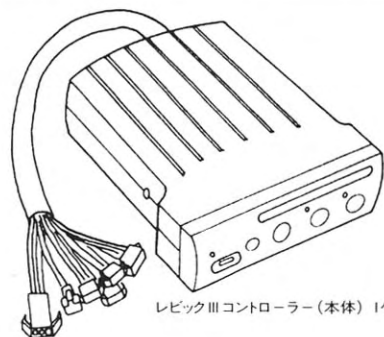
〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台字宝永作3155番5 TEL.0479(77)3000



## 2. 本製品の特徴

- 本製品は、目標とする空燃費になるように、任意のブースト圧、エンジン回転数から追加装着されたインジェクターを駆動させ、噴射量をコントロールする装置です。
- シミュレーター等を接続出来るオプション拡張ポートと、ネットワーク機能を搭載し、チューニングレベルに応じたグレードアップが可能です。
- オプションパーツの追加で、同時に8本までのインジェクターをドライブすることが可能です。
- イルミネーションパネルは、高輝度のLEDや、レーザーカットを施した透過照明文字等の採用で夜間でも美しく、操作しやすい設計となっています。

### 3. 部品構成

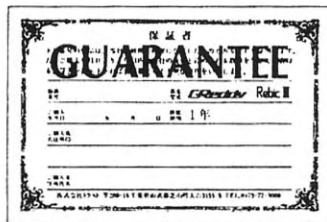


コントローラー取付け  
ステー固定用ローレットネジ2ヶ

コントローラー取付けステー用ネジ  
(M5タッピングビス、M5平ワッシャー)2セット

コントローラー取付けステー 1ヶ

### 3. 部品構成



### お 願 い

- ・お買上げ後、以上の物がある事をご確認下さい。又、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が、同じであることをご確認下さい。
- ・このパーツ構成は、1本のインジェクターを駆動させる為の内容になっています。インジェクターを2～4本使用される場合には、別売りのインジェクターハーネスをお求め下さい。さらに、インジェクターを5～8本使用される場合には、別売りのインジェクタードライバーセットをお求め下さい。  
(価格は、P.32のオプションパーツリストをご覧下さい。)

最低限必要な物と工具	確実に取り付ける際に必要な工具
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライヤー</li> <li>・ニッパー</li> <li>・+、-ドライバー</li> <li>・10mmのスパナもしくは、レンチ</li> <li>・テスター (15v以上計れるもの)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンダゴテ、ハンダ</li> <li>・キリ、又は、ドリル</li> <li>・布、中性洗剤、水</li> <li>・ワニ口クリップ付ハーネス</li> <li>・ビニールテープ</li> </ul>

上記部品・個数に相違がある場合は、必ず装着前にお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。(住所・電話番号は最終ページに記載。)

## 4. 取り付け方法・配線方法

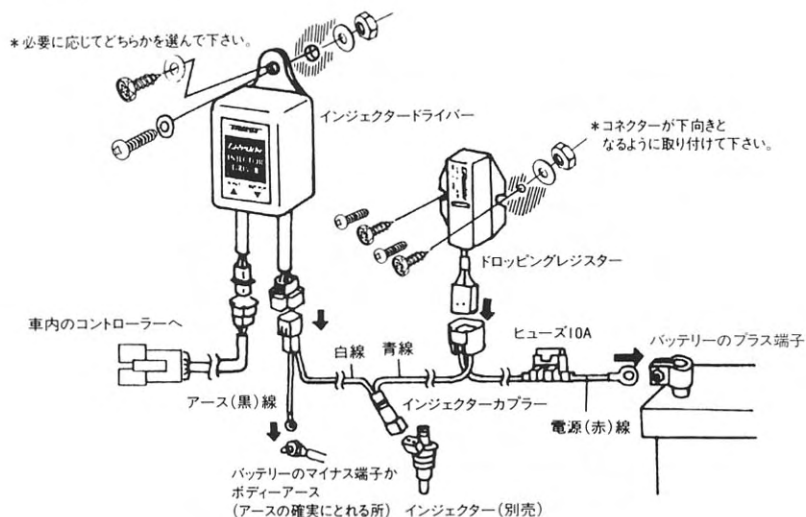
- ★簡単な全体配線図を裏表紙に記しています。取り付け時や取り付け後の確認に使用下さい。
- ★本製品によって駆動されるインジェクターと、それに伴う燃料ラインなどの装着作業は既に終了していることを前提といたします。
- ★作業を始める前に、安全のためイグニッションキーを抜いて、バッテリーのマイナス端子をはずして下さい。

### (1) インジェクタードライバーの取り付けと配線

「取り付け時の注意」をよくお読みの上、〔図1〕を参考に下記の4つを取り付けます。

- インジェクタードライバー
- インジェクターハーネス・アッセンブリ
- インジェクタードライバー・ハーネス
- ドロッピングレジスター

〔図1〕



## 4. 取り付け方法・配線方法

### 取り付け時の注意

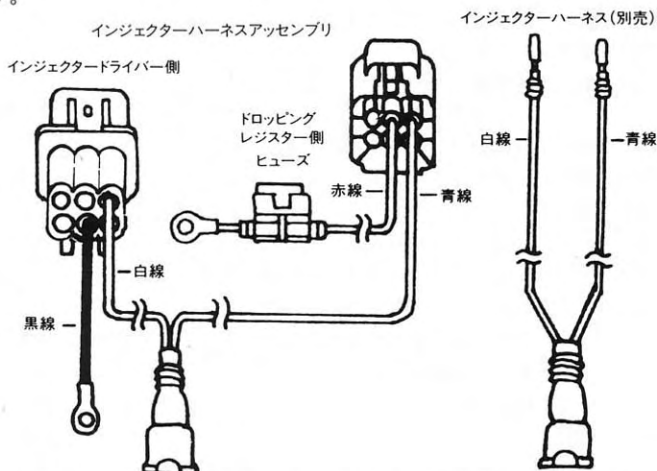
- インジェクタードライバーは、修理不能部品です。破損されますと新品部品をお買い上げ頂くことになってしまいますので、以下の点に十分注意して取り付け、ご使用頂きますようお願いいたします。
  - ・落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
  - ・E X、 マニホールドの近くなど、高温になる場所や、水のかかりやすい場所を避け、風通しのよい場所に取り付けて下さい。
  - ・インジェクタードライバーから出ているハーネスも、交換修理が出来ませんので断線などしないよう注意して下さい。
- 本製品と他のインジェクター駆動装置（純正エンジンをコントロールするコンピューターなど）で共通のインジェクターを駆動させると、双方を破損させる恐れがありますので、そのような使い方はしないでください。
- ドロッピングレジスターは、作動中高温になりますので、取付場所、取扱には十分ご注意ください。また、風通しがよく、水のかかりにくい場所に、コネクターが下向きとなるように取り付けて下さい。
- 本体保護のため、インジェクターハーネス・アッセンブリには10Aのヒューズが入っています。ヒューズが切れた場合には、必ず原因を解明した上で交換して下さい。また、ヒューズの代わりに針金、銀紙などを使用することは大変危険ですので絶対に行わないで下さい。
- インジェクターハーネス・アッセンブリは、高温になる場所を避け、からまることのないように取り回して下さい。
- インジェクタードライバー、インジェクタードライバーから出ているハーネス、インジェクターハーネス・アッセンブリ、ドロッピングレジスターとも、点火系の近くなどのノイズの発生しやすい場所を避けて取り付けをして下さい。
- コネクター類を接続する際は、必ず「カチッ」という音がし、確実にロックされたことを確認して下さい。

## 4. 取り付け方法・配線方法

□インジェクターを2～4本使用するには、次の作業を行なって下さい。

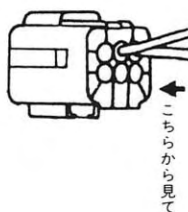
- インジェクターハーネス・アッセンブリに、別売りのインジェクターハーネスを追加します。

〔図2〕



- すでにインジェクターハーネス・アッセンブリに接続されているインジェクターハーネスと同様に、インジェクタードライバーに接続するコネクタに白線を、ドロッピングレジスタに接続するコネクタには青線を差し込みます。
- インジェクターハーネスを〔図3〕のように配線が出ている側から見たコネクタ〔図4〕の2～4のいずれかの位置に、ブランクキャップを抜き、差し込みます（この際、端子の向きに注意して下さい〔図5〕）。この時、両方のコネクタとも、同じ番号の位置に接続するようにして下さい。

〔図3〕



こちらから見て

〔図4〕



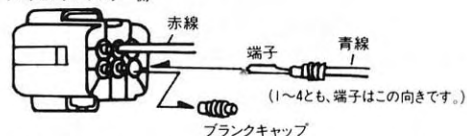
ドロッピングレジスタ側



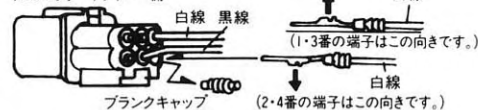
インジェクタードライバー側

〔図5〕

ドロッピングレジスタ側



インジェクタードライバー側



## 4. 取り付け方法・配線方法

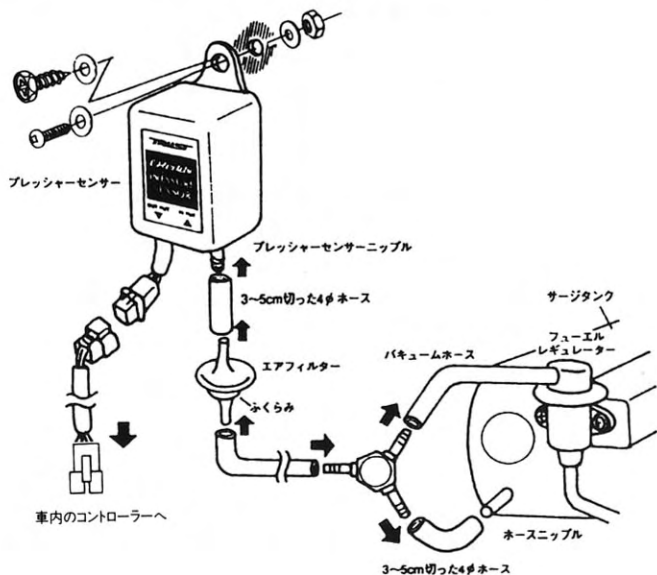
### 取り付け時の注意

- コネクタに端子を差し込んだ時、「カチッ」と音がして、配線を少々引張っても抜けないことを必ず確認して下さい。
- 使用しない場所は、必ずブランクキャップを差し込んだままにしておして下さい。

- インジェクターを5～8本使用される場合には、別売りのインジェクタードライバーセット（インジェクターハーネス1本付属）を1セットと、インジェクターハーネスを必要分お買求め下さい。取り付け方法は、PI1～13の場合と同様です。

### (2)プレッシャーセンサーの取り付けと配管

[図6]



## 4. 取り付け方法・配線方法

「取り付け時の注意」をよくお読みの上、〔図6〕を参考にプレッシャーセンサーを取り付けます。

プレッシャーセンサーの配管は、必ずスロットルバルブ後の正負圧のかかる場所（インテークマニホールドなど）から取り出して下さい。〔図6〕は、フューエルレギュレーターのバキュームホース配管を利用した場合です。

- ①付属の4φホースを切断し、3～5cmのものを2本作ります。
- ②フューエルレギュレーターとサージタンクの間のバキュームホースをサージタンク側ではずします。
- ③はずしたホースが配管されていたホースニップルに、切断した3～5cmの4φホースの1本を配管し、はずしたバキュームホースとスリーウェイジョイントで配管します。
- ④もう1本の3～5cmの4φホースを、プレッシャーセンサーのニップルとエアフィルターとの膨らみのない方に配管します。
- ⑤残りの4φホースの長さを調整し、スリーウェイジョイントの残り一つのジョイント口とエアフィルターの膨らみのある方を配管します。



## 4. 取り付け方法・配線方法

### 取り付け時の注意

- プレッシャーセンサーは、修理不能部品です。破損をされますと、新品部品をお買い上げ頂くこととなってしまいますので、以下の点に十分注意して取り付け、ご使用頂きますようお願いいたします。
- 落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- E X、 マニホールドの近くなど、高温になる場所や、水のかかりやすい場所を避け風通しのよい場所に取り付けて下さい。
- 大気圧導入口が設けてありますので、水のかかりやすい場所を避けて取り付けして下さい。
- プレッシャーセンサーから出ているハーネスは交換・修理が出来ませんので断線などしないようにご注意ください。
- 点火系の近くなどのノイズの発生しやすい場所を避けて取り付けをして下さい。
- プレッシャーセンサーへの配管は、付属のホースの長さ内でおさまるようにして下さい。また、ホースがつぶれたり、よじれたりしないように注意して下さい。
- コネクター類を接続する際は、必ず「カチッ」という音がし、確実にロックされたことを確認して下さい。
- プレッシャーセンサーニップルから、水や油が入らないように、必ず付属のエアフィルターを使用して、ニップルが下向きになるように取り付けして下さい。

### ※エアフィルターの取扱について

- ①エアフィルターの位置や向きは、必ず指定通りに取り付けして下さい。
- ②フィルターの汚れや目詰まりは、圧力がセンサーに正確に伝わらなくなり、誤作動を引き起こす原因となります。使用中はフィルターの汚れに十分注意して下さい。フィルターの汚れがひどい場合には、新しいエアフィルターと交換して下さい。

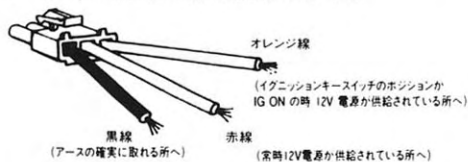
## 4. 取り付け方法・配線方法

### (3)コントローラーの配線と取り付け

「取付・ご使用上の注意」をよくお読みの上、〔図7〕～〔図10〕を参考に、作業して下さい。

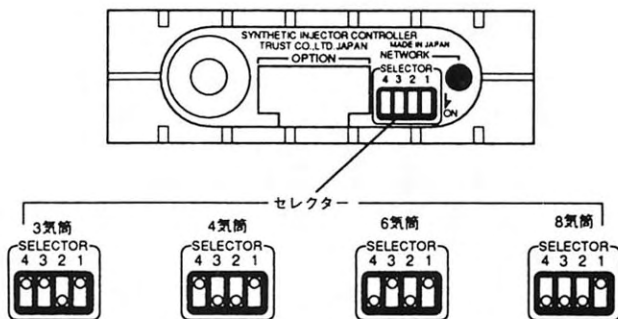
- ①エンジンルームに取り付けたインジェクタードライバーの5ピンコネクターのついたケーブルと、プレッシャーセンサーの4ピンコネクターのついたケーブルを、車内のコントローラーを取り付ける場所まで引いてきます。
- ②電源ハーネスの各3本の線を配線します。

〔図7〕



- ③回転信号ハーネスの緑線を、エンジンの回転信号の取り出せるところへ接続します。
- ④コントローラーのバックパネルのセレクターを、使用するエンジンの気筒数に設定します。

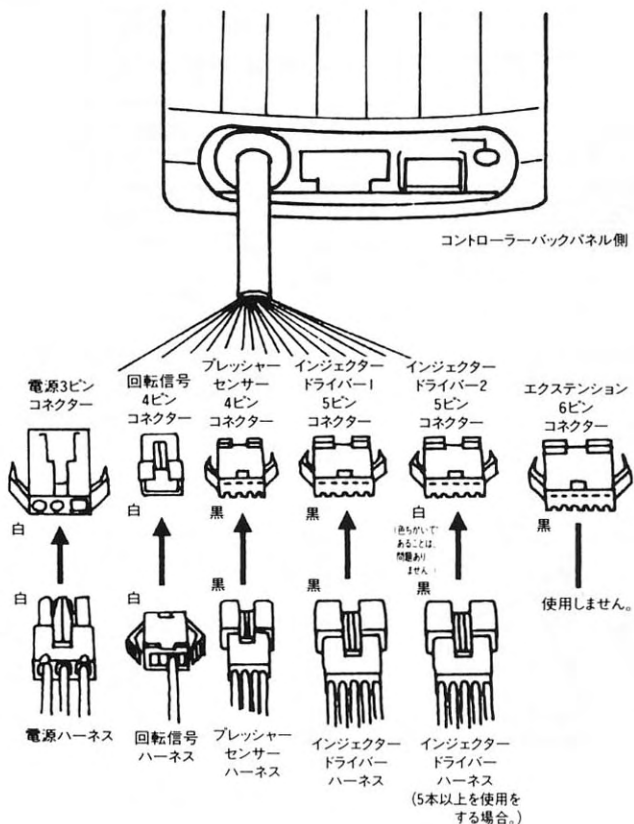
〔図8〕



## 4. 取り付け方法・配線方法

- ⑤インジェクタードライバー、プレッシャーセンサー、電源ハーネス、回転信号ハーネスの4つ（使用するインジェクターが5本以上の場合は5つ）のコネクターをコントローラーのバックパネルから出ているコネクターに接続します。

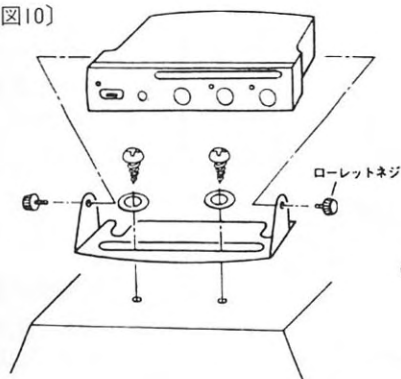
〔図9〕



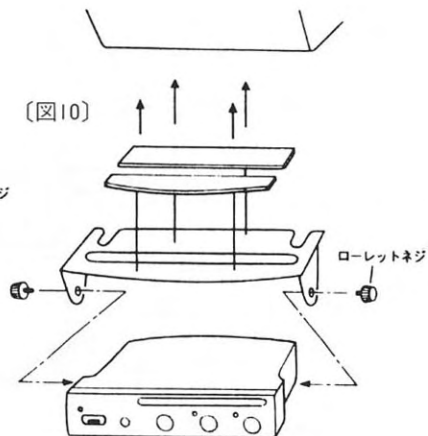
## 4. 取り付け方法・配線方法

- ⑥コントローラー取り付けステーを〔図10〕のどちらかの方法で取り付け、固定します。両面テープを使用する際には、取り付ける場所の汚れをよく拭き取って下さい。(レザークロスなどは、中性洗剤などを使用してよく拭き取って下さい)。

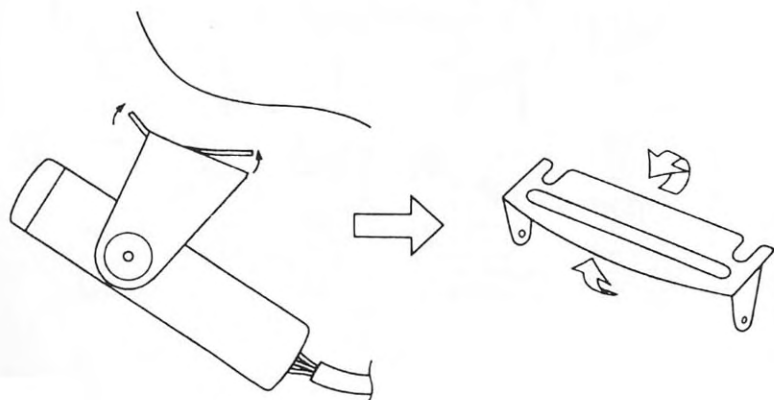
〔図10〕



○ネジ止めの場合



○両面テープ止めの場合



## 4. 取り付け方法・配線方法

- ⑦最後にインジェクターハーネス・アッセンプリのバッテリー端子を接続し、はずしておいたバッテリーのマイナス端子を取り付けて終了です。

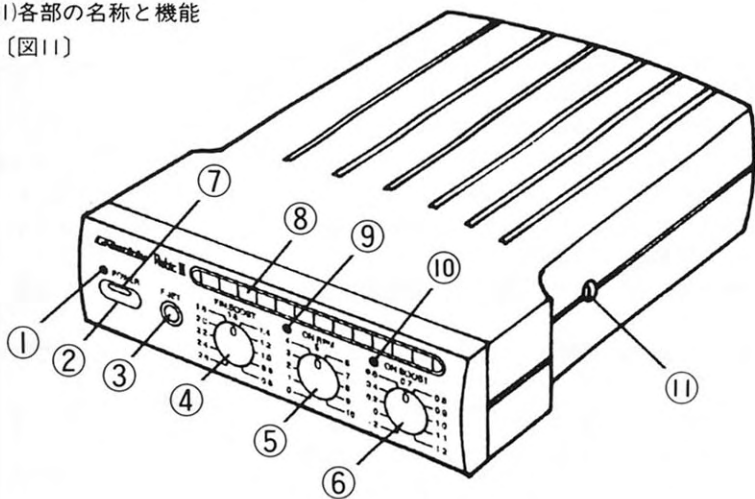
### 取り付け・ご使用時の注意

- コントローラーは湿気やほこりの多い場所を避け、必ず車内に取り付けて下さい。  
(運転の妨げにならないような場所を選んで取り付けて下さい。)
- コントローラーの温度上昇を抑えるために、ケースの上下に通風孔を設けていますので、著しく風通しの悪い場所や、ケースの上下が他のものに密着するような場所への取り付けは避けて下さい。
- 直射日光のあたる場所や、ヒーターの噴き出し口、またその近くには取り付けしないで下さい。
- 落としたり、強い衝撃をあたえたりしないで下さい。また、重いものをのせないで下さい。
- コントローラーと取り付けステーのネジ固定部には、付属のローレットネジ以外は使用しないで下さい。
- 電源は必ずテスターなどで電圧を確認した上で接続して下さい。
- 接触不良が原因でのトラブルを未然に防ぐためにも、配線と配線の接続は必ずハンダ付けを行った上で、ビニールテープなどを巻き、絶縁して下さい。
- 回転信号線は絶対に間違えないよう配線して下さい。
- 長時間ご使用にならない場合には、電源ハーネスのコネクターを抜き、インジェクターハーネス・アッセンプリの赤線をバッテリーのプラス端子からはずして下さい。

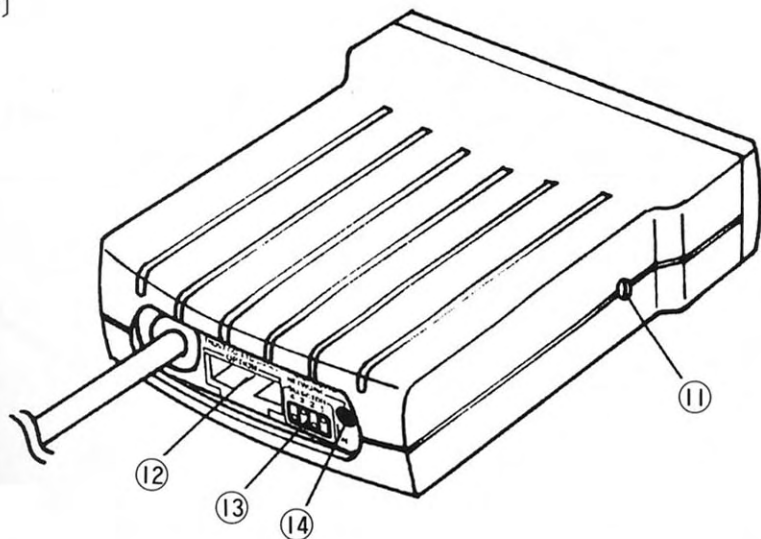
## 5. コントローラーの使い方

(1)各部の名称と機能

[図11]



[図12]



## 5. コントローラーの使い方

### (1)各部の名称と機能

#### ①POWER (パワー) L.E.D.

POWERスイッチ②がONの状態の時に点灯します。

(図11) (図12)

#### ②POWER (パワー) スイッチ

イグニッションキースイッチがONの状態、電源のON/OFFが出来ます。

#### ③F.JET (フューエル・ジェット) スイッチ

インジェクターの作動確認に使用します。

#### ④FIN.BOOST (ファイナル・ブースト) ポリリューム ※

インジェクターの開弁率が100%になるブースト圧を設定するポリリュームです。

#### ⑤ON RPM (オンアール・ピー・エム) ポリリューム ※

噴射を開始したいエンジン回転数を設定するポリリュームです。

#### ⑥ON BOOST (オン ブースト) ポリリューム ※

噴射を開始したいブースト圧を設定するポリリュームです。

#### ⑦POWER (パワー) スイッチ バックライト

イグニッションキースイッチがONの状態では、②POWERスイッチのON/OFFにかかわらず、このライトは点灯しています。

#### ⑧BAR (バー) L.E.D.

インジェクターの開弁率をグリーン・イエロー・レッドの3色12個のL.E.D.で表示します。

#### ⑨ON RPM (オン アールピーエム) L.E.D.

⑤ON RPMポリリュームで設定したエンジン回転数に達すると点灯します。

#### ⑩ON BOOST (オン ブースト) L.E.D.

⑥ON BOOSTポリリュームで設定したブースト圧力に達すると点灯します。

#### ⑪ステア取付けナット

ステアをローレットネジで固定する時に使用します。

#### ⑫OPTION (オプション) インターフェイス

Rebic III - Simulatorなどと通信するための接続部です。

#### ⑬SELECTOR (セレクター)

使用するエンジンの気筒数を設定します。

#### ⑭NETWORK (ネットワーク) インターフェイス

今後、発売される製品と通信するための接続部です。

※各ポリリュームの先端にあるポジションマークは、内部構造の関係により、透過照明ではありませんのでご了承下さい。

#### 注意

- ・従来のRebic IIとは燃料噴射時間の演算が異なります。ポリリュームを同じ数値に設定しても同量の燃料噴射が得られない場合がありますので注意して下さい。
- ・各コネクタやインターフェイスには、物を詰め込んだりしないで下さい。

## 5. コントローラーの使い方

### (2)基本操作

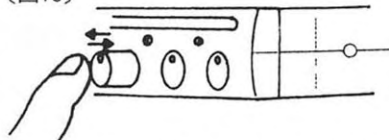
#### 1)取り付け後の確認

##### 確認前の注意

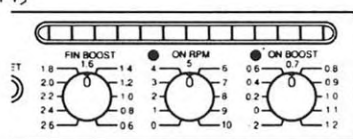
- ・エンジンが始動できる状態にしてください。
- ・エンジン始動時は、排気管付近に燃えるものがないことを確認してください。
- ・密閉された室内、作業場などではエンジンをかけないで下さい。必ず屋外か、換気設備の整った作業場で確認作業をして下さい。
- ・バッテリーの電圧降下が著しいと、エンジン始動時に本製品がリセットされる場合がありますのでご注意ください。
- ・F.JETスイッチを押し過ぎますと、エンジンがかぶってしまい、ストールしてしまいますのでご注意ください。

誤動作防止のため、コントローラーの各ボリュームの設定を、中心値に合わせます（設定は、ボリュームを軽く押し、飛び出した状態で行います）。

〔図13〕



〔図14〕



- ・イグニッションキースイッチをONのポジションにしてフューエルポンプを作動させ、燃料漏れなどがいないか必ず確認して下さい。異常がなければエンジンを始動します。

#### ①電源のチェックを行います。

POWERスイッチ②を1回押します。電源が入り、L.E.D.のイニシャルチェック機能がはたらき、各L.E.D.の点灯チェックが行われます。

#### ☆こんな場合は...

- ・POWERスイッチ②を何度押してもL.E.D.が点灯しない。



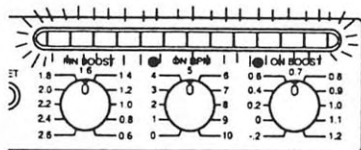
電源ハーネスの配線、接続が不完全と思われます。

もう一度確認して下さい。(P.17～P.18参照)



## 5. コントローラーの使い方

- ・イニシャルチェックが終了して、しばらくするとBAR L.E.D.がすべて点滅してしまう。〔図15〕

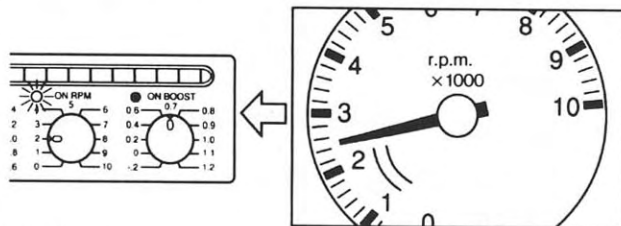


エンジンが始動しているにもかかわらず、エンジン回転信号が入力されていません。回転信号ハーネスの接続と配線場所の確認をして下さい。(P.17~P.18参照)

- ②エンジン回転信号の同調を確認します。

コントローラーのON RPMボリューム⑤を「2」に合わせます。アイドリングからエンジン回転を上げて行き、2000回転付近でON RPM L.E.D.が点灯することを確認して下さい。

〔図16〕



☆こんな場合は...

- ・ON RPM L.E.D.⑨がボリュームでセットした値と異なる回転数で点灯してしまう。または、全く点灯しない。



1. コントローラーのバックパネルのセレクター⑬が、使用するエンジンの気筒数にセットされているか、もう一度確認して下さい。(P.17参照)

## 5. コントローラーの使い方

2. 回転信号ハーネスがエンジン回転信号以外の信号線に接続されていることが考えられます。もう一度配線箇所を確認して下さい。

### ③インジェクターの噴射テストをします。

本製品で駆動するインジェクターが複数の場合は、インジェクターカプラーを1本だけに接続し、下記の確認作業を1本1本それぞれに行ってください。

エンジン回転数を3~4000回転に保ち、コントローラーのF.JETスイッチ③を約1秒弱ほど押して下さい(全噴射状態となりBAR L.E.D.⑧がすべて点灯します)。エンジンがかぶり気味になり、燃料が噴射されたことを確認して下さい。

※F.JETスイッチ③を押し続けると、エンジンがかぶってストールしてしまいますので注意して下さい。

### ☆こんな場合は...

- ・F.JETスイッチを押してもインジェクターが作動しない。



以下の点を確認して下さい。

1. Rebic III-Simulator (別売り) が接続されているか? (接続されている場合には、F.JETスイッチ③を押しながらSimulator側のTEST/RUNスイッチを押します。詳しくはRebic III-Simulatorの取扱説明書を参照して下さい。)
2. インジェクタードライバーのコネクターはしっかりと接続されているか?

## 5. コントローラーの使い方

3. インジェクターハーネス・アッセンブリのコネクターと端子はしっかりと接続されているか？
4. インジェクターのカプラー、ドロップングレジスターのコネクターはしっかりと接続されているか？
5. インジェクターハーネス・アッセンブリの電源線（赤線）は常時12Vの電圧が供給されているところに接続されているか？また、アース線（黒線）は、確実にアースのとれるところに接続されているか？
6. インジェクターハーネス・アッセンブリの電源線（赤線）に付属の10Aヒューズは切れていないか？

・F.JETスイッチ③を押すごとにインジェクターの作動音（「カチッ」という音）はするが、燃料が出ない。



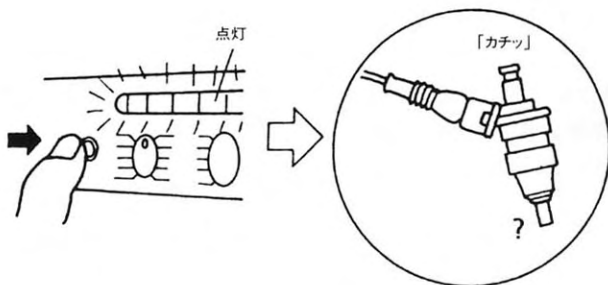
上記の1.～6.を確認後、もう一度燃料ラインなどの作業を行ったところを確認して下さい。

・F.JETスイッチを押してもインジェクターの作動音（「カチッ」という音）がしない。



インジェクターの不良が考えられます。インジェクターを点検して下さい。

〔図17〕

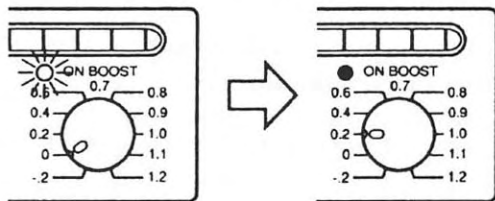


## 5. コントローラーの使い方

### ④プレッシャーセンサーのチェックをします。

エンジンをかけたまま、コントローラーのON BOOSTボリューム⑥を「0」の位置に合わせます。この状態でコントローラーの各L.E.D.に変化がなければ正常に作動していますので、一度エンジンを停止し、「-2」の位置にして再度イグニッションキースイッチをONにします。この時、ON BOOST L.E.D.が点灯し、ON BOOSTボリューム⑥を「0.2」の位置にすると消灯することを確認して下さい。

〔図18〕



### ☆こんな場合は...

・エンジンをかけたままON BOOSTボリューム⑥を「0」に合わせた時に、ON BOOST L.E.D.が点灯してしまう。



プレッシャーセンサーへのバキュームホース配管に問題があると思われる。スロットルバルブ後の正負圧のかかる箇所からしっかりと配管されているか、または、途中で配管が抜けたりしていないかを確認して下さい。

※以上の操作を行っても正常に作動しない場合は、弊社までお問い合わせ下さい。  
(住所、電話番号は裏表紙に記してあります。)

## 5. コントローラーの使い方

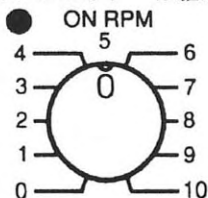
### II) セッティングのための基本操作

本製品の各ボリュームを使用してセッティングをします。エンジン回転数をON RPMボリューム⑤で、圧力をON BOOSTボリューム⑥で設定し、両方が設定値に達するとインジェクターを駆動しはじめます。FIN. BOOSTボリューム④は、インジェクターの開弁率が100%となる圧力を設定します。エンジンの仕様に合わせて必要燃料量と、装着しているインジェクターの流量とを考慮して目標とする空燃比になるように設定して下さい。各ボリュームは、軽く押して飛び出した状態で操作して下さい。

#### ①ON RPMボリューム⑤の設定

噴射を開始したいエンジン回転数に設定します。エンジン回転を上げ、設定値に達した時にON RPM L.E.D.が点灯します※。(エンジン回転数のみが設定値に達しただけではインジェクターは駆動しません。)

〔図19〕



・目盛りの単位

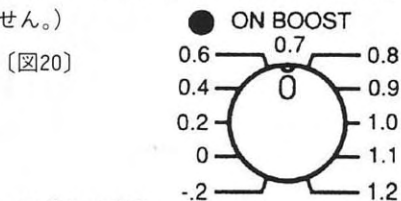
目盛りの数値×1000r.p.m.=エンジン回転数(例えば目盛りの数値「5」は、5000r.p.m.のエンジン回転数でONになることを意味しています。)

※設定する際には、実際にエンジン回転をONさせたい回転数で一定に保ち、ON RPM L.E.D.⑨が点灯するポイントでセットすると、より確実です。

## 5. コントローラーの使い方

### ②ON BOOSTボリューム⑥の設定

噴射を開始したい圧力に設定します。設定した圧力に達するとON BOOST L.E.D.が点灯します。(圧力のみが設定値に達しただけではインジェクターは駆動しません。)



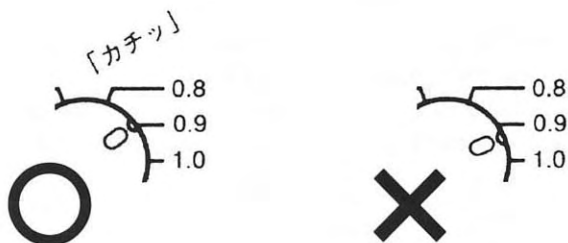
#### ・目盛りの単位

目盛りの数値「-0.2」は「-200mmHg」を意味します。

その他の数値の単位はすべて「kg/cm<sup>2</sup>」です。(例えば目盛りの数値「0.7」は、「0.7kg/cm<sup>2</sup>」の圧力でONになることを意味しています。)

・このボリュームはノッチ式なので「-0.2~1.2」の目盛りの11ポイントの中から選択して設定して下さい。ノッチのかからない目盛りと目盛りの間では使用しないで下さい。

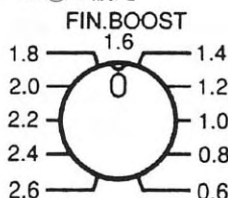
[図21]



## 5. コントローラーの使い方

### ③FIN. BOOSTボリューム④の設定

〔図22〕

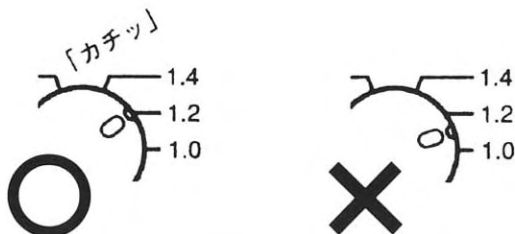


・目盛りの単位

すべて「 $\text{kg}/\text{cm}^2$ 」です。(例えば目盛りの数値「1.6」は、「 $1.6\text{kg}/\text{cm}^2$ 」の圧力でインジェクターが100%噴射することを意味しています。)

・このボリュームはノッチ式なので「2.6～0.6」の目盛りの11ポイントの中から選択して設定して下さい。ノッチのかからない目盛りと目盛りの間では使用しないで下さい。

〔図23〕



#### 注意

- ・低回転からブーストが立ち上がり、高回転で燃料の薄くなる車は、エンジン回転数に対しての燃料増量が設定できるRebic III - Simulatorが必要になります。詳しくは弊社、または販売店にお問い合わせ下さい。

## 6. 本製品の拡張性

○本製品は、コントローラーのバックパネルにあるOPTIONインターフェイスを使用して、別売りのRebic III - Simulatorを接続できます。

Rebic III - Simulatorは、エンジン回転数に対してのセッティングが可能となり、また、セッティング時の確認性を向上させる機能など、確実に、しかも楽しんでセッティングができるよう開発されたツールです。

### Rebic III - Simulatorの特徴

- ・エンジン回転数に対応する燃料噴射量の増量・減量が可能。
- ・任意に設定したセッティング値でのシミュレーションが行えるテストモードを搭載（シミュレーション：エンジン回転数がいくつで、ブースト圧がいくつだとインジェクター開弁率が何%なのかがその場で確認が可能になる）。
- ・インジェクター開弁率とブースト計をデジタル表示（切替）。
- ・ピークホールド、ブースト圧アラーム機能搭載。
- ・操作を間違えると警告するエラーチェック機能付。



## 7. オプションパーツリスト

パーツ名	数量	定価
インジェクターハーネス	1セット	¥ 2,000
インジェクタードライバーセット	1セット	¥ 22,000
インジェクタードライバーハーネス(4.5m)	1ヶ	¥ 4,000
プレッシャーセンサーハーネス(4.5m)	1ヶ	¥ 3,500
エアフィルター	1ヶ	¥ 600
Rebic III - Simulator	1セット	¥ 35,000

※オプションパーツの購入はRebic IIIをお買い上げになりました販売店へご注文下さい。

## 8. 故障かな？と思ったら…（トラブルシューティング）

以下の表を参考に、もう一度、確認して下さい。

症 状	考えられる原因	対 処 方 法
①POWERスイッチを何度押しても電源が入らない(L.E.D.が点灯しない)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源ハーネスの3ピンコネクターが確実に入っていない。</li> <li>・電源ハーネスのオレンジ線、赤線、黒線が確実に接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コネクターの差し込みを確実に行う。</li> <li>・配線をハンダ付けして絶縁テープを巻く等、確実に接続して下さい。</li> </ul>
②イニシャルチェックが終了してしばらくするとBARL E.D.がすべて点滅してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンが始動しているにもかかわらず、エンジン回転信号が入力されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回転信号ハーネスの接続と配線場所の確認をして下さい。</li> </ul>
③ON RPM L.E.D.がボリュームでセットした値と異なる回転数で、点灯してしまう。又は、まったく点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コントローラーのバックパネルのセレクターが使用するエンジンの気筒数に、セットされていない。</li> <li>・回転信号ハーネスがエンジン回転信号以外の信号線に接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セレクターを使用するエンジンの気筒数にセットして下さい。</li> <li>・回転信号ハーネスの接続と配線場所の確認をして下さい。</li> </ul>
④設定値でないのにインジェクターから、燃料が噴射されることがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレッシャーセンサーハーネスが、点火信号、無線等のノイズを拾っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレッシャーセンサーハーネスを点火信号、無線等のノイズが発生しやすい場所を避けて引き直して下さい。</li> </ul>
⑤エンジンをかけたままON BOOSTボリュームを「0」に合わせた時にON BOOST L.E.D.が点灯してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バキュームホースの取り付け箇所が違う。</li> <li>・バキュームホースが抜けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロットルバルブ後の正負圧のかかる箇所にホースバンド等で確実に固定して下さい。その他のホースの取り付け箇所もホースバンド等で確実に固定して下さい。</li> </ul>
⑥F.JETスイッチを押してもインジェクターの作動音(「カチッ」という音)がしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インジェクターの不良。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インジェクターを点検して下さい。</li> </ul>

## 8. 故障かな？と思ったら…（トラブルシューティング）

以下の表を参考に、もう一度、確認して下さい。

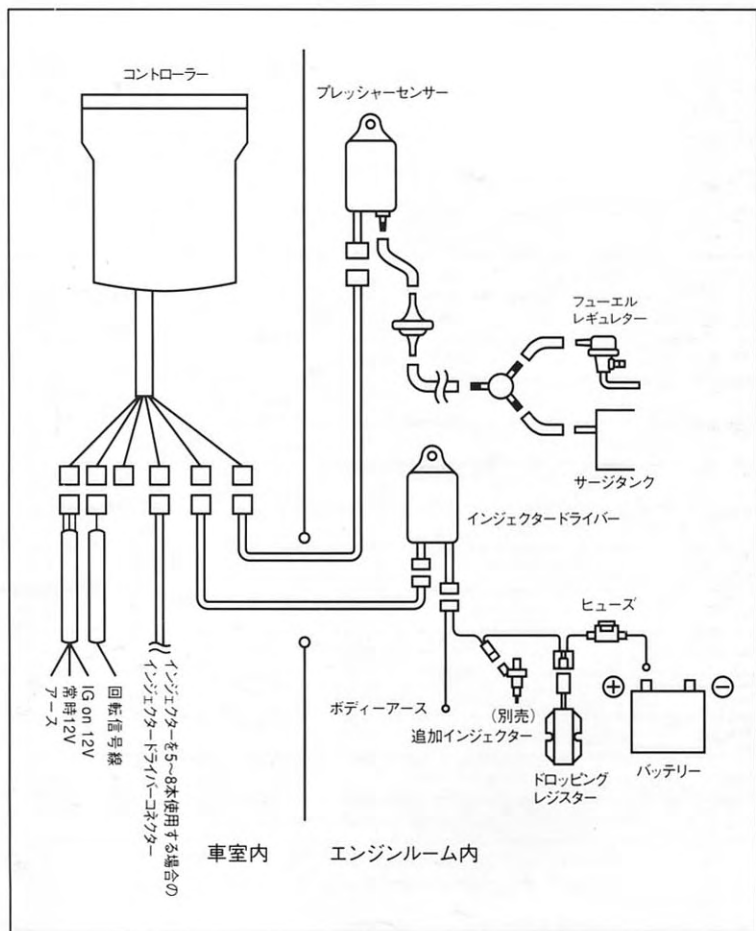
<p>⑦F. JETスイッチを押してもインジェクターが作動しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レピックIIIシミュレーター（別売）が接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シミュレーター側のTEST/RUNスイッチを押します。</li> </ul>
<p>⑧F. JETスイッチを押すごとにインジェクターの作動音（「カチッ」という音）はするが、燃料が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクタードライバーのコネクターが確実に接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクタードライバーのコネクターを確実に接続して下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターハーネス・アッセンブリのコネクターが確実に接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターハーネス・アッセンブリのコネクターを確実に接続して下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターのカプラー、ドロップングレジスターのコネクターが確実に接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターのカプラー、ドロップングレジスターのコネクターを確実に接続して下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターハーネス・アッセンブリの電源線（赤線）の接続箇所が違う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターハーネス・アッセンブリの電源線（赤線）を常時12Vの電源が供給されているところに確実に接続して下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターハーネス・アッセンブリのアース線（黒線）が、ボディー未塗装の金属部以外で止められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アース線（黒線）が、ボディー未塗装の金属部に確実に接続されているかを確認又は、取り付け場所を別の場所に移し最初から配線をやり直して下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インジェクターハーネス・アッセンブリの電源線（赤線）に付属の10Aヒューズが切れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューズ（10A）を交換して下さい。</li> </ul>

上記以外のトラブルが起きた場合、又は、上記のトラブルで対処出来ない場合は、弊社までご連絡下さい。（住所、電話番号は、最終ページに記載）

## 9. アフターサービスについて

- ◆本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
- ◆付属されている保証書は、大切に保管して下さい。
- ◆新品をお買上げの時点で、保証書の製造番号と、レビックⅢ本体の製造番号が異なる場合は、お手数ですが、お買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
- ◆保証書、レビックⅢ本体の製造番号は、当社の厳密な検査に合格した物である事を証明します。万一、ご購入年月日より1年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書とあわせて製品を提示下されば、無償修理を致します。
- ◆保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意により、修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡下さい。





第2版 平成7年6月印刷

株式会社トラスト 〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台字宝永作3155番5 TEL.0479(77)3000

**TRUST CO.,LTD.**

MADE IN JAPAN.